

ユーロ/円

2010.3.11

< 日足から想定される今後1週間程度の相場 >

日足はユーロの高値圏(桃色の帯)に入る陽線となっています。当面は高値目処を探る展開が想定されますが、これまでの相場基調に変化がないのであれば、直ぐに反落となることが予想されます。もしそうならないようなら、日足は新しいユーロ高の局面に入る可能性が出てきます。

< 週足から想定される今後1カ月程度の相場 >

週足は回帰値(緑色の実線)と高値圏の間で下影の長い同事足(始値と終値がほぼ同値の足形)となっています。今週末に現在程度以上の水準で終わるようなら、今後高値圏へ向かって上昇する展開が想定されますが、万が一、回帰値を割り込む陰線となって終わるようなら、反落に転じてユーロの下値圏(水色の帯)へ向かう可能性が出てきます。

< 月足から想定される今後3カ月程度の相場 >

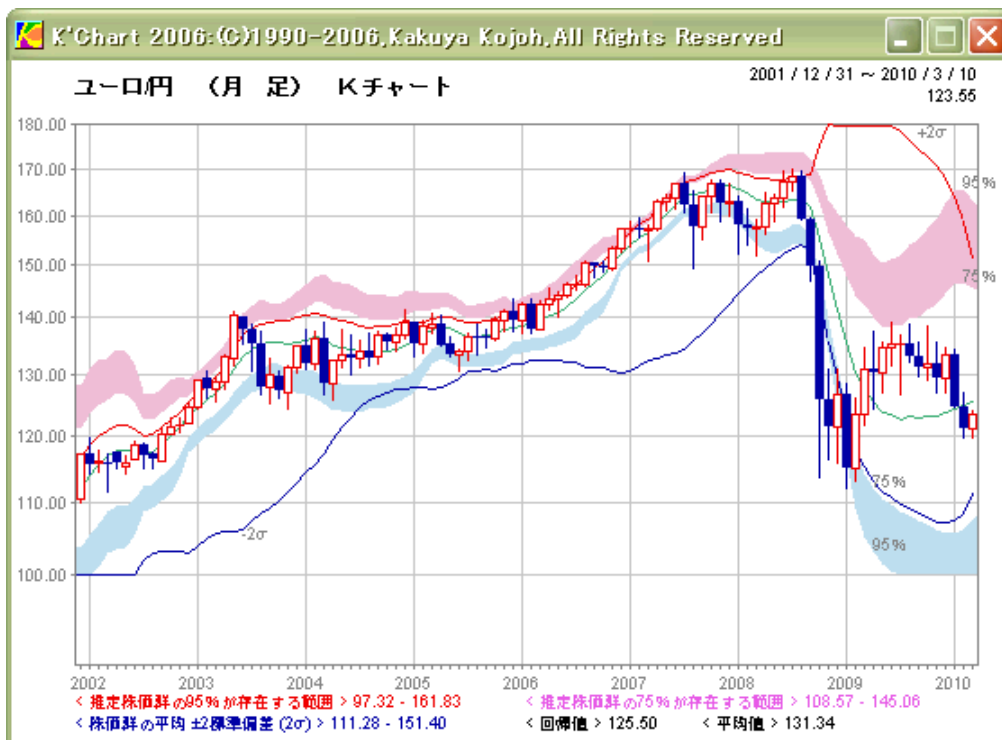
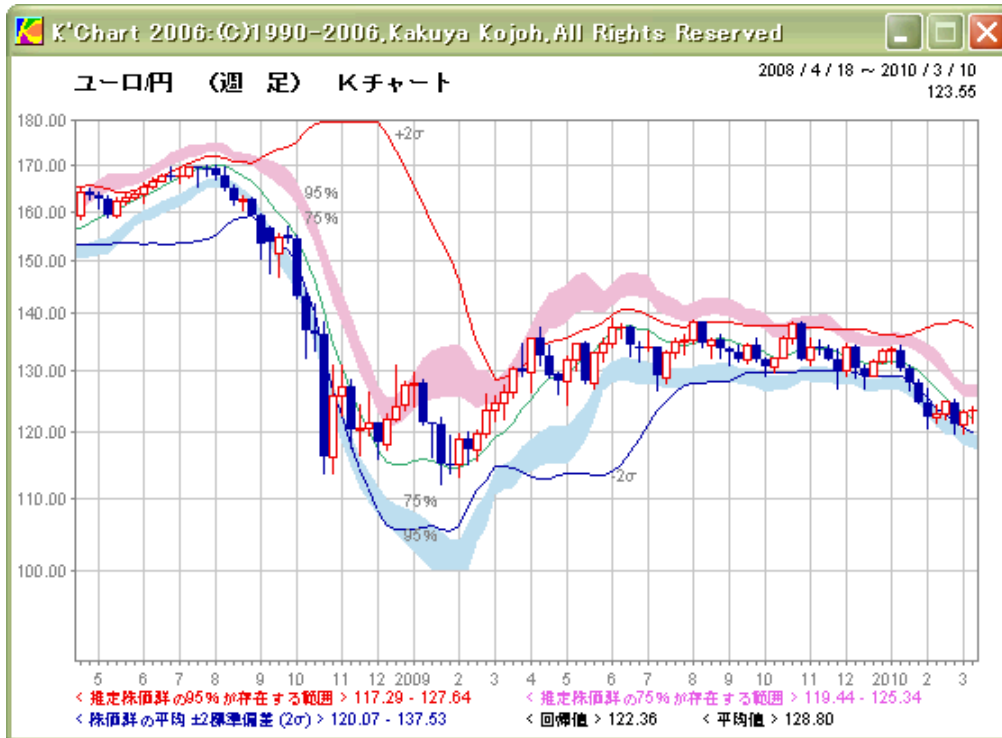
月足は回帰値を下回る位置で上下に影のある短い陽線となっています。今月末に現在程度以下の水準で終わるようなら、今後、下値圏へ向かう展開が想定されますが、回帰値を上回る陽線で終わるようなら、反騰に転じて高値圏へ向かう可能性が残ります。

欧州では、財政の逼迫している国々が次々と槍玉に挙げられています。欧州版のIMFも検討されるなど、解決へ向けての取り組みの検討も進んできている様子です。しかし、国毎に経済情勢や国内事情も異なるでしょうから、すべての国の道筋が明らかになるまでには紆余曲折がありそうですし、時間もかかりそうです。その間、ユーロは不安定な展開が続きます。



この資料は、テクニカル分析に基づく執筆者の作成日における見解で、有価証券等の売買や特定の投資戦略への参加の勧誘を意図したものではありません。当社が信頼できると判断した公開の情報源から得た情報に基づいて作成されていますが、必ずしも当社の意見を反映したものではありません。その正確性や完全性を保証するものではありませんし、事前事後の通告なしに変更される場合があります。

この資料にある有価証券等の価格や価値は変動する可能性があり、そのリスクや、外貨建ての場合は、為替相場の変動リスクもお客様が負うこととなります。さらに、過去の実績は、必ずしも将来の成果を保証するものではありません。資料の内容がすべてのお客様に適合的であるとは限りませんし、お客様は、ご自身の状況や投資目的に鑑み、ご自身で投資に関する決定をしていただく必要があります。また、売買取引に際しては国内株式対面取引の場合、最大で約定代金の1.05%(税込)もしくは最低2,625円(税込)の手数料が必要となります。なお、この資料のすべての部分について、目的や方法を問わず、無断での複製、転載、転送などを行わないようにお願いします。



この資料は、テクニカル分析に基づく執筆者の作成日における見解で、有価証券等の売買や特定の投資戦略への参加の勧誘を意図したものではありません。当社が信頼できると判断した公開の情報源から得た情報に基づいて作成されていますが、必ずしも当社の意見を反映したものではありません。その正確性や完全性を保証するものではありませんし、事前事後の通告なしに変更される場合があります。

この資料にある有価証券等の価格や価値は変動する可能性があり、そのリスクや、外貨建ての場合は、為替相場の変動リスクもお客様が負うこととなります。さらに、過去の実績は、必ずしも将来の成果を保証するものではありません。資料の内容がすべてのお客様に適合的であるとは限りませんし、お客様は、ご自身の状況や投資目的に鑑み、ご自身で投資に関する決定をしていただく必要があります。また、売買取引に際しては国内株式対面取引の場合、最大で約定代金の1.05%(税込)もしくは最低2,625円(税込)の手数料が必要となります。なお、この資料のすべての部分について、目的や方法を問わず、無断での複製、転載、転送などを行わないようにお願いします。